

2005 ミニ・ディスクロージャー

見てわかる“しんきん”



新庄信用金庫ステンドグラス「北の春」は、当金庫の本店新築時に郷土出身の
一水会会員、近岡善次郎画伯の原画・監修によって創作されたものです。

「北国に春が来て、遠山にまだ雪が残っているのに梅、桃、桜が同時に咲き出し、少し遅れてサクランボの緑
がかった白い花が咲く、それが雪のやっとなびく野を埋める。働く人も春の野に出ることは
喜びである。春風を胸いっぱい吸って、本当に生きている喜びを味わう。この気持ちの良さは、東北生まれ
の私にとって最高の喜びとして一生忘れず思い続けることだろう。」

近岡 善次郎

基本方針

- 郷土の繁栄に心から奉仕する
- 内容の堅実な金庫にする
- 和顔愛語に満ちた明朗な
庫風を創る
- 待遇の優れた金庫にする



ごあいさつ

皆様には、平素より私ども信用金庫をお引立ていただきまして、誠にありがとうございます。

この「2005年度版ミニ・ディスクロージャー誌」は当金庫第86期（平成16年度）の決算の状況と事業の概況をご報告するとともに、当金庫の内容等をわかりやすくご説明申し上げるために作成いたしました。ぜひ、ご一読いただきますようお願い申し上げます。

さて、平成16年度の我が国の経済は、輸出や設備投資が増加傾向で推移したことから、企業収益が大幅に改善され、雇用環境も持ち直しの動きが見られたものの、年度後半にかけては、諸外国の景気減退や原油価格の高騰等により減速気味で推移いたしました。

そうした中、当金庫においては、創業支援・商店街活性化など地域振興のための努力を重ねながら、堅実経営を目指し、業務に邁進しております。

このような経営環境下において、資産の健全化を一層進めるために厳密な償却・引当処理を行いました結果、本業での利益を示す「コア業務純益」が372百万円（前年比9百万円減）となりましたが、一般企業の売上に相当する経常利益は、194百万円（前年比92百万円増）、当期純利益に関しては90百万円（前年比24百万円増）となりました。

また、当金庫の自己資本比率は13.14%と国内基準の4%を大幅に上回る水準となっております。

今後とも、デフレ脱却に向けた施策が期待されるものの、その他不安要因も多く、景気の先行きは不透明であります。これまで以上に皆様のお役に立てる金融機関になるため、リレーションシップバンキング（お客様との信頼を重視した金融業務）を実践し、地域に根ざした業務運営に努め、さらに“真心のこもったサービス”を提供してまいりたいと考えております。

今後とも、皆様の一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成17年8月

理事長 井上 洋一郎

Q1 決算の状況について

A

おかげさまで16年度決算では、372百万円のコア業務純益（本業での利益）、および90百万円の当期純利益を計上することができました。

●資産内容の健全化を第一に考えました。

景気の低迷により地域経済においても、中小企業は依然として厳しい状況が続いており、金融機関は全般的に、貸出金を中心とした効率的な資金運用が難しく、収益確保は厳しさを増しております。

平成17年3月末の業容は、預金残高556億円（前年比1.6%増）、貸出金残高998億円（前年比1.4%減）となりました。

収益面では、資産内容の一層の健全化に向け、貸出金の償却3百万円、貸倒引当金の繰入237百万円を実施した結果、経常利益194百万円、当期純利益90百万円、本業での利益を示すコア業務純益372百万円となりました。

（百万円 以下単位未満は切り捨て）

	平成14年度	平成15年度	平成16年度
	第84期	第85期	第86期
業務純益	241	369	449
コア業務純益	364	381	372
経常利益	52	102	194
当期純利益	27	66	90

〈しんきん〉のコストパフォーマンス

当金庫のオーバーヘッドレシオ（OHR）は、14年度は79.4%、15年度は74.7%、16年度は74.2%と0.5ポイント改善しております。経営合理化・効率化の指標としてよく使われるOHRは、「粗利益をあげるためにどれだけの経費を使ったか？」を比率で示したもので、つまり、当金庫は100円の粗利益をあげるために使う経費が79円→74円→74円と推移しているというわけです。16年度に比率が改善した理由としては、貸倒引当処理費用等の減少によるものですが、今後も引き続き経営合理化による、ムダのないスリムな経営を目指してまいります。

なお、出資の配当率は年4%を継続させていただき、今期の収益から内部に積み上げた自己資本は、引き続き地元へのご融資等の原資などとして活用させていただきます。

景気の先行きはまだまだ楽観できないものの、どんな不透明な状況下でも、皆様へのご融資資金を安定的に供給できるよう、〈しんきん〉はこれからも頑張っております。

なにとぞご理解賜りますようお願い申し上げます。

■自己資本比率
自己資本額
÷
リスク・アセット
×100

経営健全性の指標
「自己資本比率」は

13.14%

国内基準4%の3倍以上
高い安全性を確保しています。



Q2 自己資本比率について

A 13.14%と高水準を維持。「健全で問題のない金融機関」の国内基準を大きく上回る水準となっています。

●自己資本比率は金融機関の安全性を示す判断指標のひとつです。

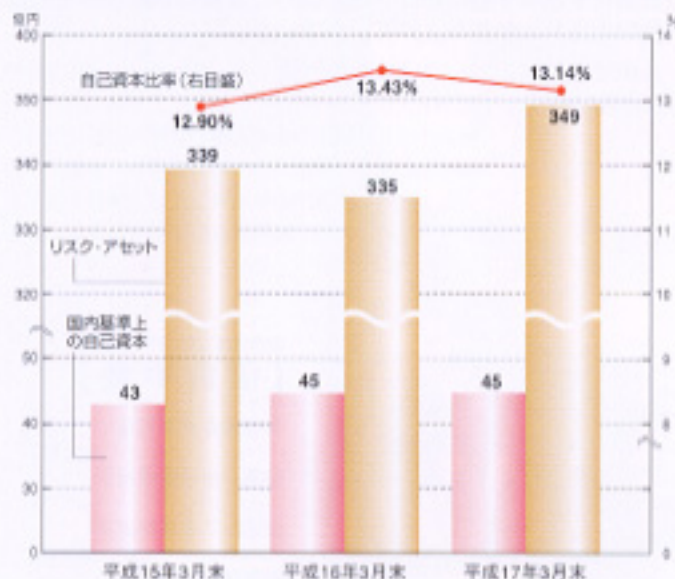
自己資本比率は金融機関の安全性・健全性を示す指標のひとつで、資産に対する自己資本(出資金・利益準備金・積立金など)の割合、つまり「いざというときの備えの水準」を表しています。信用金融のように国内のみで営業活動を行う金融機関については4%あれば経営体質が健全であると判断されています。

●自己資本比率は13.14%と高水準を維持。

当金庫は経営の健全性向上のために、自己資本の充実を重点課題のひとつとして、毎年の収益の中から、安定した内部留保の蓄積を行ってまいりました。16年度はQ1でもご説明いたしましたとおり、資産内容の一番の健全化を図るため、償却・引当処理を行い、自己資本比率は13.14%と高い健全性を保持しております。

自己資本比率の推移

※国内での金融業務を行う「信用金庫」に対して「貸倒引当率」が算出される基準は、その自己資本比率が4%未満となった場合と定められています。当金庫はこの国内基準を保持しています。



預金・貸出金の推移

●預金残高の推移 (億円)

	平成13年3月末	平成14年3月末	平成15年3月末	平成16年3月末	平成17年3月末
個人預金	438	445	450	460	470
法人預金	115	108	103	87	86
預金残高合計	553	553	554	547	556

振込の乱送から企業の半元資金の取り崩しがあったものの、個人預金の堅調な増加により9億円増加して556億円の残高となりました。

●貸出金・代理貸付残高の推移 (億円)

	平成13年3月末	平成14年3月末	平成15年3月末	平成16年3月末	平成17年3月末
貸出金残高	396	405	408	404	398
代理貸付残高	62	56	50	46	40
計	459	462	459	450	439

アパート建設資金や住宅建設資金需要に積極的に応じましたが、景気を反映し製造業、不動産業の減少により貸出金は6億円減少し598億円となりました。また、住宅金融公庫貸付等の減少により代理貸付は40億円となりました。

Q3 不良債権の状況について

A 従来にも増して厳格にルールを守り、適正な処理を行っています。

●積極的な不良債権処理を行っています。

金融機関は、企業の運転資金や設備資金、また個人のお客様向けに各種のローンなどを取り扱っていますが、融資先が不幸にも経営不振になったり倒産したりすると、貸出金の回収ができなくなる場合があります。そうなる可能性の高い貸出金を不良債権といいます。

金融機関は、経営の健全性を高めるために、資産の健全度を自己査定によって評価し、これに基づき不良債権の適正な償却や引当をすることが義務付けられております。

当金庫は資産の健全化を経営の最重要課題と位置づけ、厳格な自己査定基準に基づき適正な償却・引当を行うなど、不良債権の一律を固めております。

17年3月期の状況

(百万円)		(百万円)	
リスク管理債権	金額	金融再生法債権	金額
・破綻先債権	290	・破産更正債権およびこれらに準ずる債権	737
・延滞債権	2,689	・危険債権	2,260
・3ヵ月以上延滞債権	—	・要管理債権	653
・貸出条件緩和債権	653	・正常債権	37,147
合計	3,633	合計	40,800

金融再生法に基づく不良債権とその保全状況

●金融再生法上の不良債権計 3,652百万円



保全額計 3,037百万円



保全率 83.16% $(3,037 \div 3,652 \times 100 = 83.16\%)$

中小零細企業に携わる方々や、個人のお客様の円滑な金融を担うことが、地域金融機関である信用金庫の最も大切な役割ですから、特にこの長引く不況下においては、ある程度の不良債権の発生はやむを得ないと考えております。

上のグラフにあるとおり、不良債権合計36億円のうち30億円は貸倒引当金(9億円)および担保・優良保証等(21億円)により保全されております。

Q4 預金保護のしくみについて

A 万一金融機関が破綻した場合、預金者一人あたり、一金融機関ごとに元本1,000万円までとその利息等(注1)が保護されます。利息がつかない等の条件を満たす預金(注2)である決済用預金に該当するものは全額保護となります。

(注1) 定期預金の始付額と元金も利息と同様に保護されます。
(注2) 「無利息、要求払い、決済サービスを提供できること」という3条件を満たす預金です。

Q5 キャッシュカード被害について

A 最近キャッシュカードの偽造・盗難により預金引き出される被害が増えておりますので、お客様におかれましては、次の点にご注意ください。

- 暗証番号は、他人に知られないよう、十分注意してください。とくに、暗証番号を記載したメモや暗証番号を推測される手帳りとなるものは、キャッシュカードと一緒に保管しないでください。
- 生年月日、ご自宅の電話番号、自動車ナンバーなど、他人から推測されやすい番号を暗証番号とすることは避けてください。
- 暗証番号は定期的に変更することをお奨めいたします。当金庫のATM(現金自動入出金機)で変更が可能です。
- 当金庫以外の金融機関のキャッシュカードを利用される場合には、当金庫のキャッシュカードの暗証番号と同じ暗証番号を利用しないことをお奨めいたします。また、キャッシュカードの暗証番号を真贋品ボックスなど他のサービスを利用する際の暗証番号として使うことは避けてください。

- ATM(現金自動入出金機)などを利用される場合は、暗証番号を後ろから読み見られたりしないようご注意ください。
- 当金庫職員などが訪問や電話などでキャッシュカードの暗証番号をお尋ねすることはありません。不審な点がある場合には、ただちにお取り引きされている店舗にご照会ください。

Q6 業界全体の健全性について

A 信用金庫の中央機関として運用資産31兆円の「信金中央金庫」がバックアップしています。また独自のセーフティー・ネットにより、業界全体の健全性の向上にも努力しています。

金融庁は平成17年3月29日、新たに「地域密着型金融の機能強化の推進に関するアクションプログラム」を要請することを発表しました。これは、旧アクションプログラムを承継しながら、地域金融について「活力ある地域社会の実現を目指し、競争的環境のもとで地域の再生・活性化、地域における紀実支援など、中小企業金融の円滑化及び中小・地域金融機関の経営力強化を促す観点から、地域密着型金融の一層の推進を図る。」というもので、更なる経営努力が求められております。

私も、アクションプログラムに沿った、信用金庫らしい機能強化を策定し実行するために、業界全体の英知を結集して取り組んでまいります。

●健全性を維持するために、他の業界には見られない信用金庫独自の安全網を作り上げています。

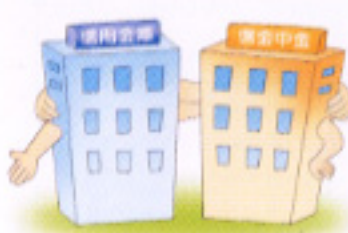
金融機関の破綻を未然に防止する手立てとして、金融当局による「早期是正措置」がありますが、信用金庫業界では、これに加えて独自の安全網を用意しています。「信金中金」が個々の信用金庫の財務内容等を毎月こまかくチェックし、問題がある場合には改善のための指導や、支援を行う「信用金庫経営力強化制度」です。金融庁の早期是正措置の発動を待たずに、自主的に経営内容を改善するために、業界独自の仕組みを作り上げているのです。

もっと知ってほしい、その実力。信用金庫と信金中金。

※信用金庫名目総数は2005年3月末現在のものです。
※信金中金名目総数は2005年3月末現在のものです。
ただし、貸付資産は2005年4月末現在、配当利回り(2005年度半期配当金をもとに2005年4月末時点)により算出したものです。

地域経済のパートナー 【信用金庫】

- 豊富な預金量107兆円
- 巨大なネットワーク
…全国298金庫、7,878店舗
- Face to Faceの事業展開
……役員員数11万7千人
- 多数の出資者913万人



信用金庫と信金中金は、手を携えて地域経済の繁栄に貢献しています。

信用金庫のセントラルバンク 【信金中金】

- 豊富な運用資産31兆円
- 高い自己資本比率15.77%
- 低い不良債権比率0.41%
- 邦銀トップの格付
……AAA(格付機関JCR)
- 高配当の優先出資配当利回り2.50%



お子様のご誕生おめでとうございます！
お子様の健やかな成長を願い、出生記念樹として「ブルーベリーの苗木」を差し上げております。

地元応援団 出生記念樹 プレゼント

詳しくは当店窓口が
担当者にお問い合わせ
ください。



※この企画は、地元へ居住又は勤務されている方を対象とさせていただきます。

新庄信用金庫

※より詳しい内容は各営業店に信用金庫法に基づくディスクロージャー誌「新庄信用金庫の現状」を備えておりますので、ご覧ください。
ホームページ <http://www.shinjosk.com/>